



取材し、認知症介護に携わっている方のお役に立てるレポートを書きたいと思えます。ピテル三田では、基本的に施設内ならどこのお部屋にも自由に入出入りできるようなっているのです、入居者様の中には事務室に入り机の上や引き出しの中をひっくり返し探して物をされる方がおられます。「あれがない、あれがない」と言って興奮気味です。そんな時に「何もありませんよ」「危ないから出てくださーい」と声をかけてしまつと、更に不穏にさせてしまいます。若い頃接客のお仕事をされていた方には「玄関にお客様がお見えになっているので一緒にお出迎えに行きますよ」と言つとすぐに納得して頂けます。

また「服を取りに家に戻ってへん」と言われる入居者様に、ついつい「娘さんに聞いてみますね」と正直に答えると「私は母親です。何で娘に聞く必要があるの」と怒らせてしまいます。そんな方には娘さんを引き合いに出さないようにとスタッフ間で申し送りを徹底します。

このような入居者様の気持ちに寄り添う介護は勿論のこと、過介護にならないようにすることも大切です。若い頃軍隊に入られていた男性入居者様の中には、転倒防止のために手を取ったりすることを「甘やかさんといてくれ」と嫌がられる方もいらっしゃいます。そのような場合には、どんな状況になっても手助けできるように後ろで準備し、そしてそれを気づかれないように最善の注意を払っています。

施設長さんのお話を伺い「尊厳を保つ介護」というものが、日常の小さな気配りの積み重ねから成り立っているのだと強く感じました。

新年明けましておめでとつござい

ます。年明けによく話題になるのが、干支の性格診断。巳年生まれば「嫉妬深く」「執念深く負けず嫌い」など

あまり良いイメージがなく、不満な方もおられるかもしれませんが、それは反面、学問・芸術で成功する能力を持っていることにも繋がっています。しかし、このような性格診断は、もちろん全ての人に当てはまるわけではありません。

全国で300万人を超え、75歳以上の5人に1人が罹っていると言われる認知症もそれと同じようなことが言えます。そ

の症状は10人いれば10通り、決して同じではなく「認知症だから」という括りの「十把一絡げの介護」は心地よい生活を提供出来ません。入居者様お一人お一人の「尊厳を保つ介護」に重点を置く「ユピテル三田」で、今年もたくさんの方の介護上の具体的事例を

全室個室・24時間常駐スタッフ

かかりつけ医による月2回の往診 24時間家族の出入り自由

♪もういつつねるとお正月♪お正月には まりついで♪
おひねついで 遊びましょう はやくこいひお正月♪
入居者様がスタッフと協力してお正月の準備。



段ボールを使って素敵な羽子板が出来上がりました！ エントランスホール

■交通のご案内 [JR・神鉄三田駅・三田本町駅 から徒歩3分]



●要支援2～要介護5まで入居でき、車椅子の方も可能です。

ユピテル Sanda

〒669-1527 三田市中町7-34
事業主：(有) タナベメディカルサービス

お問い合わせは 9:00～17:00

TEL.079-565-2220